

- (1) 開会式 学校評議員委嘱 校長挨拶
出席 (学校) 後藤校長、目谷副校長、三條教頭(全日)、森教頭(定時)
平塚総務部長(全日)、小松総務進路部長(定時)
(評議員) 田代雄一、山口清悦、黒元浩志、太田隆久、岡田理恵 <敬称略>
- (2) 委嘱状伝達及び校長挨拶
- (3) 自己紹介
- (4) 学校評議員会開催計画等(三條教頭)
- (5) 学校概況の説明
- ・全日制 ア 今年度の教育計画等の説明(平塚総務部長)
イ 学校概要について(三條教頭)
 - ・定時制 ア 今年度の教育計画等の説明(森教頭)
イ 学校概要について(森教頭)
- (6) 情報交換・意見交換
- 【全日制】
- ・山口評議員：土曜活用の状況はどうなっているのか。
(回答)：平成25年度は全道で6校が試行した。平成26年度は、各管内1校以上で試行が行われている。
 - ・田代評議員：義務教育でも土曜活用が行われている。保護者は評価しているが、子供達はあまり賛成していないようだ。滝川高校では、7時間授業も行っているようだがどのような状況か。
(回答)：SSH指定校は、教育課程の特例が認められている。その利点を十分活かすよう教育課程を編成している。生徒は、平日と変わらずしっかりと土曜授業に取り組んでいる。授業時数の確保にも配慮しながら土曜活用を行っている。
 - ・岡田評議員：前期にはさまざまな行事があるが、授業確保もしっかりとお願いしたい。
6月21日(土)に行われたオープンスクールの参加数はどうだったのか。
(回答)：平成25年度は200名、平成26年度は101名であった。
 - ・岡田評議員：なぜ、前年度より少なかったのか。
(回答)：高野連事務局業務、模擬試験との調整で、昨年度より1か月早めたため、中体連期間と重なってしまった。次年度に向け、時期・内容の検討、目的の明確化を図って行きたい。
 - ・黒元評議員：地域に開かれた学校を目指して、PRもさらに積極的に行って欲しい。
 - ・太田評議員：地域居住者として、町内会としても、高校の行事等のPRに協力したい。
(回答)：学校行事のPRは、オープンスクール開催時に学校近隣町内会への周知を行った。今後は、学校だよりのWebページへの掲載を検討している。
 - ・山口評議員：防災について、地域の避難所としての対応はできているのか。
(回答)：予算的裏付けがなく、非常食等の保管はしていない。自家発電機の点検は毎月行っている。
 - ・山口評議員：初動対応について、誰が何をやるかを校内で決めておくべきである。
(回答)：非常災害時の業務継続計画を平成25年度に作成したが、さらに市との連携は強化する必要がある。
 - ・太田評議員：交通安全運動を町内で行っている。高校生に危険な状態があれば、注意を促したい。
(回答)：交通安全指導は、学校内でも登下校時の校外指導を行っている。町内会の方からも応援していただけると大変助かる。今後とも、協力をお願いしたい。
- 【定時制】
- ・田代評議員：定時制の組織図に教育支援委員会がある。メンバーの中に専門家がいらないようであるが、大丈夫なのか。
(回答)：必要により、専門家にも随時参加してもらう予定である。
 - ・岡田評議員：定時制の学校説明会の案内をする範囲はどうなっているか。
(回答)：関係中学校に案内している。中学校の先生が、生徒を引率してきた。
 - ・岡田評議員：もう少し、案内範囲を広げたら良いのではないか。
(回答)：昨年度から、案内範囲を拡大するよう計画中である。
- (7) 閉会式 校長挨拶